

### 自衛隊が戦争法案の施行前提に部隊編成計画 戦争法案は廃案しか道はない!

自衛隊内で「8月中の戦争法案成立・来年2月施行」を前提に、法案の実施計画が立てられていた。11日の参院安保法制特別委員会で、日本共産党の小池晃議員が独自に入手して暴露した防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」(防衛省統合幕僚監部の内部文書PDF)で、国会・国民無視の計画が初めて明らかにされました。小池氏は「法案の成立を前提に部隊の編成計画まで出ている。絶対に許されず、法案を撤回すべきだ」と追及しました。中谷元・防衛相は答弁不能となり、審議はたびたび中断。結局、途中散会となりました。

自衛隊内で「8月中の戦争法案成立・来年2月施行」を前提に、法案の実施計画が立てられていた。11日の参院安保法制特別委員会で、日本共産党の小池晃議員が独自に入手して暴露した防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」(防衛省統合幕僚監部の内部文書PDF)で、国会・国民無視の計画が初めて明らかにされました。小池氏は「法案の成立を前提に部隊の編成計画まで出ている。絶対に許されず、法案を撤回すべきだ」と追及しました。中谷元・防衛相は答弁不能となり、審議はたびたび中断。結局、途中散会となりました。

文書は、今国会に戦争法案が提出された5月末時点で作成されたものとみられます。表題から分かるように、新ガイドラインと戦争法案の概要、双方の関係を示したものです。「今後の進め方」とする日程

表では、法案成立を前提に、最も早いパターンで「8月以内の施行」開始として来年2月に施行を明記しています。また、7日に部隊派遣延長が閣議決定されたばかりの南スーダンPKO(国連平和維持活動)について、来年3月



防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」の抜粋。写真:防衛省

ら「国会の審議が第一であり、法案の内容を先取りするようなことは控えなければならない」との答弁に終始しました。小池氏は「これでは戦前の『軍部の独走』と同じではないか。こんなことは絶対に許されない。これ以上議論できない」と批判しました。(しんぶん赤旗8月12日付)

中谷氏は「ご提示していただいての資料がいかなるものかは承知をしていない」と、文書の真偽について答弁を避けてきました。小池氏は、「大臣が知らないところで検討が進められているのは大問題だ」と追及。事実確認を求めたのに対し、中谷氏は「同じ表題の資料、これは存在する」と認めました。ただ、内容の詳細には立ち入

### 平和安全保障法制の 今国会での成立NO! 緊急府民大集会

戦後70年間、日本は戦争で一人も殺さない、殺されないという平和国家を創り上げてきました。いま政府は、平和安全保障法制の制定により、それを大きく変えようとしています。憲法学者の大多数が違憲と述べ、多くの国民が慎重審議を求めているのに、政府は今国会での成立を強行しようとしています。そのような暴挙を許さないために、集まりましょう! 声をあげましょう!

プログラム(予定)  
講演「平和安全保障法制の問題点と課題(仮題)」  
講師:小林 節さん(慶応義塾大学名誉教授・弁護士)ほか

日時:2015年8月29日(土)  
開演 午後2時(開場午後1時)  
※集会開会後にパレードも行います。  
円山公園音楽堂へお集まりください。  
午後3時30分頃解散予定。  
※雨天時は会場を雨どいいたします。

会場:円山公園音楽堂  
京都市東山区円山町(円山公園内)  
※公共交通機関でお越しください。

各政党ご挨拶  
各界からのアピール  
なども予定しています!

JR東舞鶴南口公園  
舞鶴集会 9・6(日)

京都北部各地のとりくみ  
宮津・与謝集会 9・5(土)  
宮津市島崎公園グランド  
舞鶴集会 9・6(日)

### 戦争法先取りの危険な 日米合同演習反対

「日米合同演習反対9・6あいば野大集会」

日時 2015年9月6日(日) 集会 14:00~ デモ行進14:50~  
場所 高島市今津町 住吉公園(JR湖西線今津駅下車すぐ)  
内容 集会 現地報告・決意表明・集会アピール採択等  
デモ行進(40分程度) 住吉公園→今津駐屯地→今津駅  
集会には、横断幕、のぼり旗、プラカードなど持参しましょう

福知山集会 9・6(日)  
JR福知山北口公園  
綾部学習集会 9・6(日)  
林業センター、のち宣伝

### 平和の風

60年安保の時は組合主導で集会参加にも組織的な動員がかかっていた。それ

に比べると「戦争法案」反対の取り組みには個人の自発的な立ち上がりが目立つ。年配の方がよく口にする言葉です。全国に広がるSEALDsはその象徴的存在といっているでしょう。彼らはなぜ立ち上がることが可能だったのか。ある研究会で問いを投げってみました。

- 3・11とりわけ原発事故に対する国の対応への深刻な危機感、□「原発ゼロ」をめざす国会前デモと原発を實際に止めた経験の目撃、
- 若い世代がおかれた状況がもたらすストレス(教育、就職他)、□ 特にリーダーの一部にある従来からの取り組みとの接点、□ 学校や地域に狭く限定されないネットワーク形成装置(SNS)の有効活用といったあたりが注目されました。さらにベテランとの接点を拡げるには、世代を越えた学びの機会を粘り強く提供しつづけること。ここが肝心であるように思います。(I)

京都弁護士会  
電話(お問合わせ) 075-231-2336  
住所 京都市中京区小西通丸太町下ル  
HP http://www.kyotozen.or.jp/